



2月 町屋幼稚園だより

令和7年1月31日
荒川区立町屋幼稚園
園長 関川 浩

「それぞれの春に向かって」

主任教諭

1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」といいますが、令和7年が始まり早くも一ヶ月が経ちました。町屋幼稚園の子どもたちは冬の季節とも仲良しで、外で思い切り走ったり、風を感じながら凧あげをしたりして元気に遊んでいます。

今年は2月3日（月）が立春、その1日前の2月2日（日）が節分となり、幼稚園では本日「豆まき」を行いました。春を迎えるためにそれまでの悪いことを追い払い、幸せを呼び込むとともに、「自分の中にいる追い出したい鬼」について考え、自分を見つめ直す機会にもしています。

豆まきに向けて、鬼のお面を作りました。年長いるか組では「心配になっちゃう鬼」「恥ずかしがり鬼」など、自分自身のことを振り返って追い出したい鬼を考えていました。「今日は良い事あるかな？悪い事があるかな？って心配になっちゃうときがあるんだ。」「初めてのことをするときドキドキして恥ずかしくなっちゃうから、追い出したいんだ。」と理由を話していました。3年間の経験が積み重なり残り少ない園生活を自信をもって送っている年長組の子どもたちですが、不安や緊張する思いもあり、日々いろいろなことを感じたり考えたりしながら生活していることが伝わってきました。自分自身の気持ちを受け入れ、言葉にして表す姿に大きな成長を感じました。年少ひよこ組は幼稚園で初めての豆まきを楽しみに、「怖い顔にしよう！」と張り切ってお面を作っていました。幼稚園みんなでの活動や行事に喜んで主体的に参加しようとする気持ちが育っています。「(ひよこ組の)黄色の名札が(年中うさぎ組の)ピンク色になってきた！」と、年中組への進級を楽しみにしている姿が輝いています。

立春を過ぎると暦の上では春です。心の中にもあたたかい春がやってきます。進級や進学に向けて様々な思いをもち、期待に胸膨らませながら成長していく子どもたちとともに、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

《今月のねらい》

【年 少】○友達とのかかわりを広げながら一緒に遊ぶことを楽しむ。

○寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ。

【年 長】○見通しをもって、自分たちで遊びや生活を進める。

○就学に期待をもち、園生活の楽しさを感じたり異年齢の友達に親しみをもったりする。

今年も元気に遊ぼうね！～お正月ならではの行事や遊び～

1月は、お正月ならではの活動や遊びをたくさん楽しみました。今年1年間みんなが元気に笑顔で過ごすことができるよう願い、もちつきときに作った鏡餅を割って鏡開きをしました。子どもたちはお餅が割れる様子を興味深そうに見ていました。自分たちで作った凧で、第七峽田小学校の校庭で凧あげもしました。「空まで届きそう！」と、広い校庭を思い切り走って、心も身体もぼかぼかになりました。今年も幼稚園で元気いっぱい遊びましょうね！



鏡開き。よい1年になりますように！



元気いっぱい凧あげをしました！